

令和
4年度

相談支援・ 就業支援セミナー

オンデマンド配信

テーマ 障害のある人もない人も 暮らしやすい地域づくりのために

～障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しを含めて
障害者相談支援と就労支援の果たすべき役割と連携をあらためて考える～

趣 旨

私たちの生活は、新型コロナウイルスの影響により生活全般について様々な制約を受けるようになりました。障害の有無にかかわらず、すべての人がその変化に対応しながら生活をしていますが、一方で新型コロナウイルスへの対応に伴う生活の変化等による様々な課題が浮き彫りとなってきました。

本年のセミナーは、「障害のある人もない人も暮らしやすい地域づくりのために」というテーマのもと、障害のある方の生活の基盤づくりを担う相談支援と就労支援に焦点をあて、各々の果たすべき役割と連携をあらためて考える機会とすべく開催することといたしました。

障害者総合支援法が施行されてから来年で10年が経過しますが、障害のある方が福祉サービス等の利用や企業等への就労を目指す際に、最初に関わりをもつ相談支援事業所や障害者就業・生活支援センターは、障害のある方と福祉サービスや企業等をつなぐ架け橋になっています。ソーシャルワークの視点に基づき、新型コロナウイルス感染症への対策も含めた利用者を取り巻く社会環境全体に目を向け、留まることなく働きかけることが必要です。

そこで、あらためてこれまでの相談支援と障害者就業・生活支援センターの成果と課題等を振り返るとともに、それぞれの果たすべき役割を再確認するため、相談支援、就労支援の立場の方等に参加していただき、それぞれの実践報告やディスカッションを通じて学びを深め、皆様のこれからの支援と連携の実践にお役立ていただければと考えています。

コロナ禍で大変な折ではありますが、本セミナーが相談支援や就労支援の現場で働く皆様にとって新たな連携構築の一助となれば幸いです。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度に続き、本年度のセミナーもオンデマンド配信で開催いたします。本来であれば、一堂に会して開催したいところではありますが、趣旨を御理解いただき、多くの皆様に御参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

主 催

公益財団法人 日本知的障害福祉協会 相談支援部会

開催方法

オンデマンド配信（動画配信用サイトにて視聴）

視聴期間

令和4年12月8日（木）～12月21日（水）

対 象

障害児・者の相談支援・就業支援に携わる関係職員等

参 加 費
（視聴料金）

8,000円（会員） 11,000円（一般）

プログラム

I 開会挨拶・趣旨説明

(25分)

II 講演 1

(90分)

地域における相談支援体制構築の重要性と 構築のために必要な視点

吉野 智 氏 (PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 マネージャー (元厚生労働省 障害福祉専門官))

プロフィール

平成8年に社会福祉法人ロザリオの聖母会に入職。知的障害者入所更生施設、次に精神障害者地域生活支援センターを経て、平成22年に千葉県単独制度である中核地域生活支援センターにて、子どもから高齢者、障害の有無に関わらず対象者横断的な総合相談支援に従事。平成23年に東日本大震災により被災した旭市で、千葉県仮設住宅生活支援アドバイザー派遣事業を実施。平成28年3月にロザリオの聖母会を退職。平成28年4月より厚生労働省障害福祉課で障害福祉専門官に就任。「制度化は難しい」と言われ続けたピアサポートの施策化を何とかやり遂げ令和3年3月に厚生労働省を任期満了で退職。令和3年4月より、現職。

III 講演 2

(90分)

障害者就業・生活支援センターと 障害福祉サービス等の連携の在り方

眞保 智子 氏 (法政大学 現代福祉学部福祉コミュニティ学科 教授)

プロフィール

法政大学現代福祉学部教授。博士(経済学)、精神保健福祉士。社会福祉法人プライム理事長。障害者雇用とキャリアデザイン、職業リハビリテーション、若年者・障害者の就労支援等を研究。厚生労働省「今後の障害者雇用促進制度の在り方に関する研究会」「精神障害者等の就労パスポート作成に関する検討会」委員、「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会」、「障害者雇用・福祉施策の連携強化に関する検討会ワーキンググループ」構成員、内閣府障害者政策委員会専門委員、高齢・障害求職者雇用支援機構外部評価委員などの社会活動と障害者雇用や就労支援に関して企業や自治体等での研修や講演活動を行っている。

IV メインディスカッション

(90分)

『地域で暮らしたい』という願いを実現していくために、相談支援、 就労支援の果たすべき役割と連携について考える

地域で暮らすということは、衣食住の確保のみではなく、その人の楽しみや役割といったことも含め「暮らす」ということであり、これは、障害の有無にかかわらず当たり前のことです。そこで、今年のメインディスカッションでは、「暮らす」ための基盤づくりを担う相談支援事業と就労支援事業の実践報告と、地域で生活をおくる当事者の方、保護者の方の想いやご意見から、相談支援と就労支援のこれまでの連携の成果や課題を振り返りつつ、今後の役割と連携の在り方について考えます。

パネリスト

二村 和輝 氏 / 二村 寿満子 氏 (ジョブコーチの支援を受け特別養護老人ホーム「あさざりサニーランド」にて勤務する方とそのご家族)

パネリスト

西本 幸司 氏 (社会福祉法人広島市手をつなぐ育成会 育成会相談支援センター 相談支援専門員)

パネリスト

市川 大介 氏 (社会福祉法人道北センター福祉会 道北障害者就業・生活支援センターいきぬき センター長)

助言者

吉野 智 氏 (PwC コンサルティング合同会社 公共事業部 マネージャー (元厚生労働省 障害福祉専門官))

司会・進行

一丸 善樹 氏 (社会福祉法人三矢会 太田川学園障害者相談支援事業所リガーレ 所長兼主任相談支援専門員 / 相談支援部会会長)

V

セッション1

様々な支援の形を通して考える就労支援

社会保障審議会（障害者部会）でとりまとめられた「障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しについて」の報告書では、基本的な考え方の一つとして「障害者の希望や能力に沿った就労を支援するためには、本人の就労ニーズや能力・適性ととも、就労するに当たって必要な支援や配慮を整理し、本人の可能性を狭めることなく、個々の状況に応じた適切な支援の提供につなげる必要がある。」と述べられています。

セッション1では障害の重さや有無に関わらず、社会参加にとっても大切な要素の一つである「就労」の支援について、各パネリストが実際に関わった様々な支援の形等を基にしながら、今後どのような取り組みや工夫が必要か考えます。

①行政説明（60分）

「障害のある方の就労支援」（仮題）

日高 幸哉 氏（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐）

②実践報告・ディスカッション（90分）

「様々な支援の形を通して考える就労支援」

パネリスト	中切 智子 氏（飛騨市 市民福祉部 総合福祉課 地域生活安心支援センター「ふらっと」センター長）
パネリスト	村上 和子 氏（社会福祉法人シンフォニー 理事長/日中活動支援部会副会長）
パネリスト	藤尾 健二 氏（特定非営利活動法人全国就業支援ネットワーク 代表理事）
助言者	日高 幸哉 氏（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 課長補佐）
司会・進行	浅岡 直之 氏（社会福祉法人飛騨慈光会 ひだ障がい者総合支援センターぷりずむセンター長/相談支援部会副会長）

VI

セッション2

一人ひとりの「地域生活」を支えるための相談支援

障がいのある人の地域生活を支えるためには、福祉サービス事業者、関係機関、地域の方々の協力や連携が必要不可欠です。相談支援は本人を中心とした地域の中での調整役を担っており、その役割を果たすために地域（社会資源）の実情を知り、地域の体制を構築することも求められています。そのような中で、重層的な相談支援体制（3層構造）の仕組みや地域特性を踏まえたうえで自らの事業所の役割を理解し、3層間の連携を深め、より円滑な支援調整と「誰もが安心して相談できる地域の相談支援体制」が必要なのではないでしょうか。

セッション2では、障害者総合支援法改正法施行後3年の見直しを踏まえて、今一度相談支援の役割分担と連携の在り方、地域での相談体制の在り方について参加される皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

①行政説明（60分）

「相談支援の現状と今後の方向性について」（仮題）

藤川 雄一 氏（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 相談支援専門官）

②パネルディスカッション（90分）

「一人ひとりの「地域生活」を支えるための相談支援

～各層の相談支援の主たる役割と他層相談支援との連携と課題～」

パネリスト	菊池 一美 氏（社会福祉法人湘南の風 支援センター風 管理者）
パネリスト	藤本 篤 氏（社会福祉法人宗友福祉会 松山市障がい者南部地域相談支援センターセンター長・主任相談支援専門員/相談支援部会委員）
パネリスト	中山 恵美子 氏（社会福祉法人あらぐさ福祉会 相談支援センターみちくさ 相談支援専門員）
助言者	藤川 雄一 氏（厚生労働省社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 相談支援専門官）
司会・進行	岡本 松信 氏（社会福祉法人あしたば会 相談支援事業所すだち 管理者/相談支援部会委員）

※諸事情によりプログラム・登壇者を変更する場合があります。

参加申し込み方法

下記のURLまたは右の二次元バーコードより申し込み専用サイトに接続し、必要事項をご入力の上、**11月17日（木）まで**にお申し込みください。

<https://www.mwt-mice.com/events/soudan2022/login>



配信動画視聴までの流れ

- (1) 「新規お申し込みはこちら」をクリック後、必要事項の入力が完了された方には、登録されたメールアドレスに「申込完了」のメールが届きます。
※メールの受信拒否設定等をされている場合には、事前に、@mwt.co.jpからの受信ができるように設定を変更してください。
※翌営業日を過ぎても「申込完了」のメールが届かない場合は、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターまで必ずご連絡ください。
- (2) 11月17日（木）までに登録内容の確認・変更・取消をされる場合、マイページからお手続きください。ログインする際には、初回申込時に登録されたE-mail アドレス（又は任意で設定されるID）とパスワードが必要になります。
- (3) 締切日以降の変更・取消は、上記サイトのお問い合わせフォームからの送信またはFAXにて、名鉄観光サービス株式会社MICEセンターまでご連絡ください。お電話での変更取消は致しかねます。
- (4) 動画の視聴に必要なログインパスワード等については、12月上旬にご登録いただいたメール宛にご案内いたします。
- (5) 参加費入金後の参加取消は原則として返金対応致しかねます。

動画視聴の留意事項

- (1) 配信動画の視聴における、PCやスマートフォン等の視聴に必要な機器、インターネット環境、セキュリティ対策、その他設備の準備は各事業所の責任において行ってください。
- (2) 動画の視聴に伴う通信料は申込事業所のご負担となります。
- (3) 配信動画の内容に関するご意見やご質問に対しては回答致しかねます。
- (4) 視聴者ご自身のPCやスマートフォン等のインターネット接続障害等によるトラブルについては、責任を負いかねます。安定したインターネット環境下でご視聴ください。
- (5) 配信動画の録画、録音、再配布等は禁止します。
- (6) セミナーの申込は事業所単位となり、配信動画の視聴は、申込事業所に限定します。申込みをしていない法人内の他事業所並びに他法人（事業所）に対し、動画視聴サイトのURLや講師資料を共有、配布は禁止します。
- (7) 推奨ブラウザ

Edge 最新 Chrome 最新 Firefox 最新 Safari 最新

お問い合わせ

〔研修全般に関すること〕

公益財団法人日本知的障害者福祉協会
(古屋・三浦)

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19
KDX浜松町ビル6F
TEL (03)-3438-0466 FAX (03)-3431-1803

〔お申込みに関すること〕

お申込・お問い合わせ先
名鉄観光サービス株式会社 MICE センター
(担当/下枝・富永・柴田)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2
新霞が関ビル ロビー階
TEL : 03-3595-1121 FAX : 03-3595-1119
受付時間10:00~17:00 (土日祝祭日は休業)